

Weekly Global Economy

海外 経済指標・イベント予定 (2009年5月11日～5月15日)

～各国の1-3月期GDP成長率が一段と悪化するも月次統計は景気の悪化ペース緩和を示唆～

発表日：2009年5月7日(木)

第一生命経済研究所 経済調査部
(03-5221-5001)

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
5.11 (月)	15:45 (仏) 3月鉱工業生産(前月比)	▲0.4%	--	▲0.5%
	19:00 (OECD) 3月景気先行指数			
	(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(13日まで、米ジョージア州ジキルアイランド)			
	7:30 (米)バーナンキFRB議長が基調講演			
5.12 (火)	8:01 (英) 4月RICS住宅価格	▲72.7%	--	▲73.1%
	10:00 (韓) 金融政策委員会	2.00%	--	2.00%
	15:00 (独) 4月消費者物価(前年比、確定値)	+0.5%	--	+0.5%
	17:30 (英) 3月DCLG 住宅価格(前年比)	▲12.1%	--	▲12.3%
	17:30 (英) 3月鉱工業生産(前月比)	▲0.8%	--	▲1.0%
	21:30 (米) 3月貿易収支(10億ドル)	▲27.5	▲29.2 (▲32.5～▲25.8)	▲26.0
	3:00 (米) 4月財政収支(10億ドル)	▲65.0	▲63.0 (▲73.0～0.0)	+159.3
	(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(13日まで)			
	21:20 (米)ロックハート・アトランタ連銀総裁が開会あいさつ			
	21:30 (米)ローゼングレン・ボストン連銀総裁がパネルディスカッションに参加			

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
5.13	15:45 (仏) 4月消費者物価(前年比)	+0.3%	- -	+0.3%
(水)	17:30 (英) 4月失業率	4.7%	- -	4.5%
	18:00 (欧) 3月 鉱工業生産(前月比/季調済)	▲1.2%	- -	▲2.3%
	18:30 (英) 中銀インフレ報告			
	20:00 (米) M B A住宅ローン申請指数	+0.5%	- -	+2.0%
	21:30 (米) 4月輸入物価(前月比)	+0.4%	+0.4% (▲0.4~+1.3%)	+0.5%
	21:30 (米) 4月小売売上高(前月比)	▲0.1%	▲0.1% (▲0.6~+1.0%)	▲1.2%
	21:30 (米) 4月小売売上高(除自動車、前月比)	+0.1%	0.0% (▲0.3~+0.6%)	▲1.0%
	23:00 (米) 3月企業在庫(前月比)	▲1.1%	▲1.1% (▲1.5~+0.5%)	▲1.3%
	(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(最終日)			
	23:30 (米)デュークFRB理事がパネルディスカッションに参加			
	1:00 (米)ロックハート・アトランタ連銀総裁が閉会あいさつ			
5.14	17:00 (欧) E C B月報			
(木)				
	21:30 (米) 4月生産者物価(前月比)	+0.1%	+0.1% (▲0.6~+0.7%)	▲1.2%
	21:30 (米) 4月生産者物価(除食品&エネルギー、前月比)	+0.1%	+0.1% (0.0~+0.2%)	0.0%
	21:30 (米) 新規失業保険申請件数(千件)	598	- -	601
5.15	※ (インドネシア) 1-3月期実質GDP(前年比)	+4.27%	+4.27% (+3.78~+4.60%)	+5.20%
(金)				
	15:00 (独) 1-3月期実質GDP(前期比、速報値)	▲2.5%	- -	▲2.1%
	15:45 (仏) 1-3月期実質GDP(前期比、速報値)	▲1.3%	- -	▲1.1%
	17:00 (伊) 1-3月期実質GDP(前期比、速報値)	▲2.1%	- -	- -
	17:30 (香港) 1-3月期実質GDP(前年比)	▲5.2%	▲5.2% (▲8.0~▲5.0%)	▲2.5%
	18:00 (欧) 4月消費者物価(前年比)	+0.6%	- -	+0.6%
	18:00 (欧) 1-3月期GDP(前期比、速報値)	▲2.0%	- -	▲1.6%

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

発表日 (日本時間)	イベント (経済指標、講演、等)	当社 予想	コンセンサス、 市場予想レンジ	前月値 (前回値)
21:30	(米) 4月消費者物価(前月比)	+0.1%	0.0%	▲0.1%
21:30	(米) 4月消費者物価(除食品&アルコール、前月比)	+0.1%	+0.1%	+0.2%
21:30	(米) 5月ニューヨーク連銀製造業景気指数	▲13.0	▲15.0	▲14.65
22:00	(米) 3月対米証券投資(10億ドル)	+26.0	-	▲97.0
22:15	(米) 4月鉱工業生産(前月比)	▲0.7%	▲0.6%	▲1.5%
22:15	(米) 4月設備稼働率	68.9%	68.9%(68.0~69.5%)	69.3%
23:00	(米) 5月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)	67.2	65.0(60.0~70.0)	65.1

上記以外に、毎週火曜日に週間小売統計・ABC消費者信頼感指数が発表される。

(注1) 網掛けは注目されるイベント・経済指標、太字は重要指標

(注2) 市場予想はBloomberg

(注3) ※は発表時期未定

(注4) (欧)はユーロ圏

○主要イベント・経済指標コメント (問い合わせ先: 桂畑誠治 03-5221-5001)

(米) 3月貿易収支(10億ドル)

3月の米貿易収支は、原油価格の上昇による輸入の減少幅縮小によって▲275億ドルと赤字額が小幅増加すると見込まれる。前年比では、世界的な自動車需要の落ち込みを背景に輸出入ともにマイナス幅を拡大しよう。

地域別では3月の対中貿易赤字の全体に占める割合は、輸入のマイナス幅縮小により2月の49.7%から小幅拡大する公算。

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支				輸出				輸入			
	Balance	財 Goods	サービ Services	輸出 Exports	財 Goods	輸入 Imports	財 Goods	輸出 Exports	財 Goods	輸入 Imports	財 Goods	
08/10	▲580.36	▲695.63	+115.27	▲2.6 (+4.0)	▲2.8	▲1.9 (+3.7)	▲2.0					
08/11	▲424.51	▲532.91	+108.40	▲6.1 (▲3.1)	▲7.3	▲11.9 (▲10.7)	▲13.7					
08/12	▲398.99	▲512.64	+113.65	▲5.8 (▲9.3)	▲8.5	▲5.8 (▲15.4)	▲6.9					
09/01	▲362.03	▲469.28	+107.25	▲5.9 (▲16.5)	▲7.3	▲6.7 (▲22.8)	▲7.7					
09/02	▲259.65	▲368.58	+108.93	+1.6 (▲16.9)	+3.0	▲5.1 (▲28.8)	▲5.9					

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出					輸入				
		産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4		産業資材	資本財	自動車	消費財
08/10	▲2.6	▲4.4	▲0.4	▲2.3	▲1.2	▲1.6	▲0.8	▲3.6	▲4.7	+0.3
08/11	▲7.1	▲13.6	▲3.8	▲10.8	▲1.7	▲13.8	▲25.4	▲6.0	▲6.5	▲8.7
08/12	▲8.5	▲16.7	▲1.4	▲14.0	▲6.1	▲6.6	▲11.7	▲3.9	▲9.8	▲2.1
09/01	▲7.7	▲3.1	▲8.0	▲28.3	▲7.3	▲7.8	▲10.7	▲6.1	▲22.1	▲0.9
09/02	+3.2	+0.6	+0.5	+8.5	+11.6	▲5.9	▲9.3	▲6.0	▲8.2	▲3.9

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automotives

*3: Automotives vehicles, parts and engines

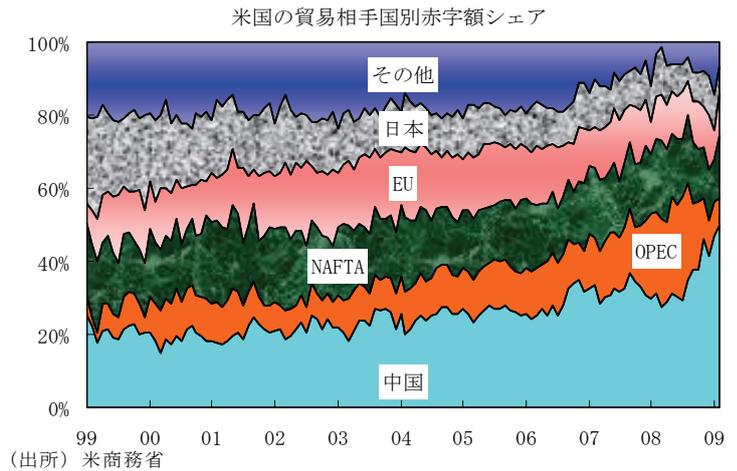
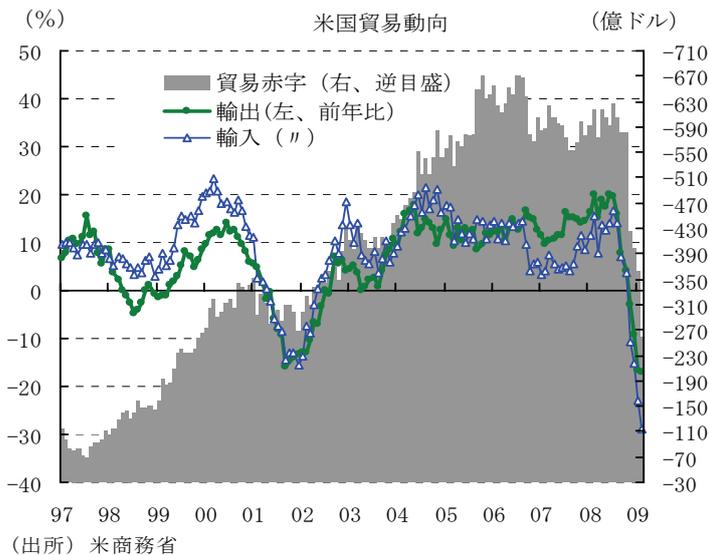
*4: Consumer goods, except automotives

	輸出					輸入						
		カナダ	中南米	E U	太平洋工業国 日本		カナダ	中南米	E U	太平洋工業国 日本		
08/10	+4.7	▲5.1	+20.2	+5.0	▲0.8	▲2.8	+2.2	▲2.6	+3.2	▲3.8	+0.5	▲15.1
08/11	▲5.8	▲15.4	+1.9	▲1.1	▲10.3	▲1.6	▲16.1	▲19.5	▲19.2	▲15.7	▲11.1	▲19.2
08/12	▲11.4	▲14.6	▲3.5	▲3.4	▲26.3	▲14.4	▲15.1	▲22.9	▲20.0	▲5.3	▲9.6	▲16.6
09/01	▲21.3	▲27.9	▲14.4	▲17.0	▲28.5	▲22.8	▲27.0	▲34.3	▲30.9	▲22.7	▲15.4	▲29.5
09/02	▲23.8	▲26.4	▲22.8	▲21.3	▲27.4	▲25.7	▲33.8	▲37.0	▲33.3	▲28.1	▲30.3	▲48.8

(注1) 未季調前年比伸び率。

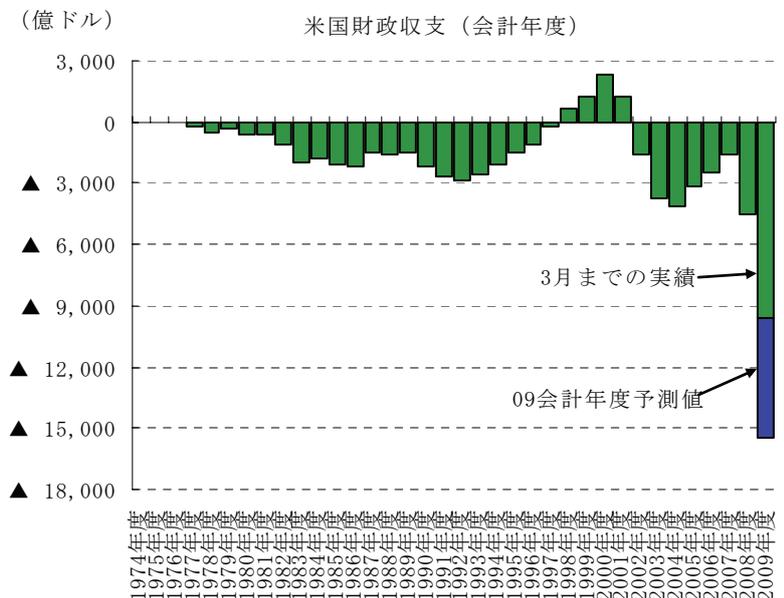
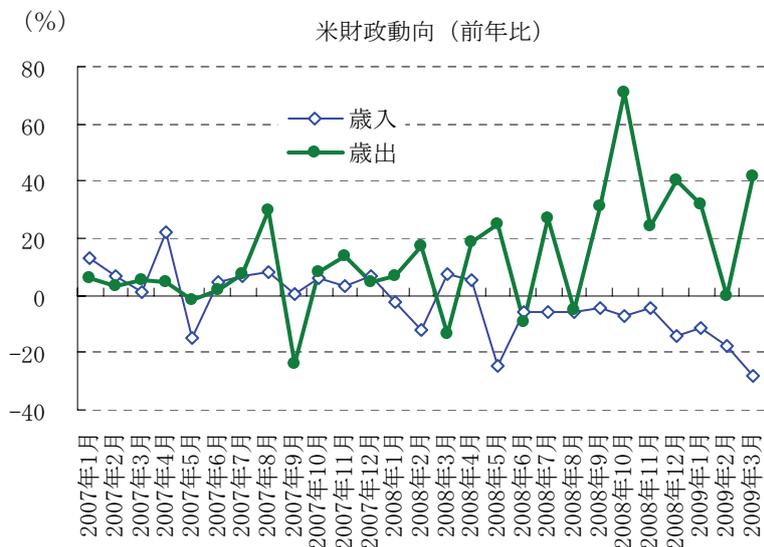
(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(米) 4月財政収支(10億ドル)

4月財政収支は、減税の実施や経済情勢の一段の悪化によって税収が大幅に減少する一方、景気・金融対策関連、アフガン増派関連での歳出増加によって、前年の黒字から赤字に転じると予想される。この結果、2009会計年度の財政赤字額は4月までの累計で1兆ドルを突破しよう。

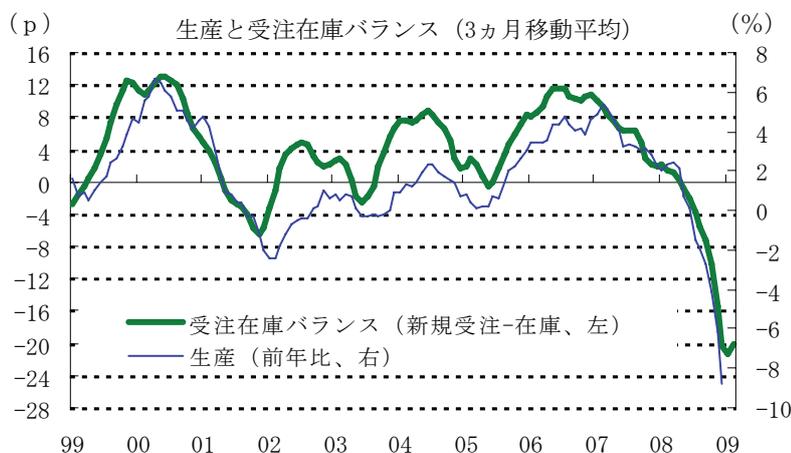


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(欧) 3月 鉱工業生産

3月のユーロ圏の鉱工業生産は前月比▲1.2%と減少が予想される。輸出の減少が続くドイツ、フランス、イタリアなどの主要国で縮小したとみられる。

前年比では、鉱工業生産の動きに1ヶ月～4ヶ月先行する受注在庫バランスが2008年末まで低下したことから、鉱工業生産も3、4月まで下落幅を拡大すると予想される。



(出所) Eurostat, Markit Economics

(米) 4月小売売上高、小売売上高(除自動車)

4月の小売売上高は前月比▲0.1%と自動車販売の減少によってマイナスが続くと予想される。また、自動車を除く小売売上高はガソリン価格の上昇ペース加速や気温の上昇に伴う衣料品販売の増加により、前月比+0.1%と拡大に転じよう。

基調を示す小売売上高(除く自動車、ガソリン、建設資材)は、家電や衣料品の販売増加によって、同+0.3%と増加に転じると見込まれる。さらに、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率ではプラス幅を拡大し、小売売上高のモメンタムは加速する公算。ただ、雇用環境の悪化、資産価格の下落などから緩やかな拡大にとどまると予想される。

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高			耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)		
		除く車			自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン
08/07	▲0.6	(+2.0)	+0.1	▲2.5	▲4.2	▲0.7	▲0.5	+0.2	+0.4	+0.0
08/08	▲0.7	(+1.3)	▲1.1	▲0.1	+1.4	▲2.9	▲2.7	▲1.1	▲0.7	▲3.0
08/09	▲1.6	(▲1.4)	▲0.7	▲3.8	▲5.8	▲2.0	▲0.9	▲0.7	▲4.1	▲0.1
08/10	▲3.4	(▲5.1)	▲2.9	▲4.3	▲5.9	▲1.7	▲2.5	▲3.4	▲2.5	▲13.1
08/11	▲2.4	(▲8.4)	▲2.6	▲1.6	▲1.2	▲1.5	+0.9	▲3.3	▲0.9	▲18.2
08/12	▲3.1	(▲10.5)	▲3.2	▲2.5	▲2.3	▲1.0	▲6.0	▲3.7	▲4.0	▲15.3
09/01	+1.9	(▲8.9)	+1.6	+1.8	+3.0	▲1.4	+6.3	+2.0	+5.1	+4.0
09/02	+0.3	(▲7.9)	+1.0	▲1.7	▲3.0	+0.5	+0.7	+1.2	+2.8	+3.1
09/03	▲1.1	(▲9.4)	▲0.9	▲2.2	▲2.3	▲1.7	▲5.9	▲0.6	▲1.8	▲1.6

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

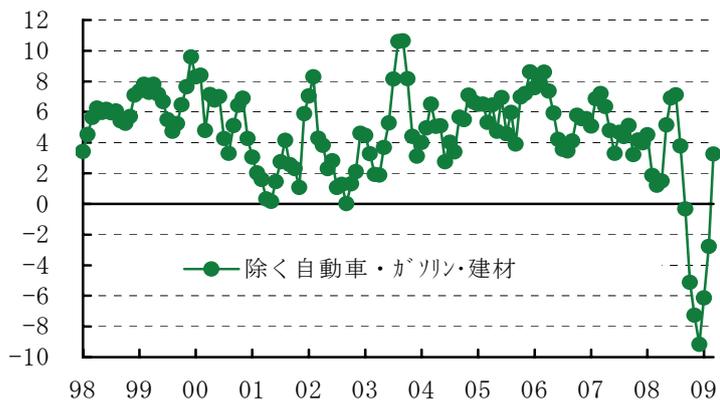
(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(%) 小売・飲食サービス売上高
(3ヵ月移動平均、3ヵ月前対比年率)



(%) 小売・飲食サービス売上高
(3ヵ月移動平均、前年同月比)



(欧、独、仏、伊) 1-3月期GDP(前期比、速報値)

ユーロ圏の1～3月期実質GDP成長率は前期比年率▲2.0%とマイナス幅を拡大すると予想される。個人消費、固定資本投資の減少ペース加速、外需のマイナス寄与拡大が主因。ドイツ、フランス、イタリアなど主要国の1～3月期実質GDP成長率も消費、設備投資の減少幅拡大により前期からマイナス幅を拡大する公算が大きい。

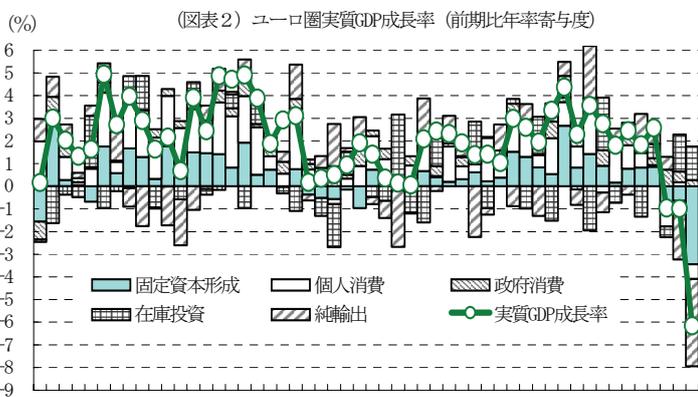
ユーロ圏GDP成長率

	ユーロ圏											ドイツ			フランス			イタリア		
	名目GDP		実質GDP		内需				外需			デフレ率			実質GDP	実質GDP	実質GDP			
	(寄与度)	(寄与度)	(寄与度)	個人消費	固定資本投資	在庫投資	政府支出	(寄与度)	輸出	輸入	(寄与度)									
2007年	1-3	+1.4	+0.7	(+0.9)	▲0.1	+1.0	(+0.6)	+0.8	(▲0.2)	+0.4	+1.0	+0.8	+0.4	+0.1	+0.2					
	4-6	+1.1	+0.4	(+0.3)	+0.6	+0.2	(▲0.2)	+0.3	(+0.2)	+1.1	+0.7	+0.7	+0.4	▲1.1	+0.1					
	7-9	+1.1	+0.6	(+0.7)	+0.5	+0.9	(+0.1)	+0.5	(▲0.1)	+1.7	+1.9	+0.5	+0.6	+0.5	+0.2					
	10-12	+0.9	+0.5	(+0.1)	+0.3	+0.9	(▲0.3)	+0.3	(+0.4)	+0.7	▲0.1	+0.4	+0.3	+0.4	▲0.3					
2008年	1-3	+1.2	+0.6	(+0.5)	+0.0	+1.0	(+0.2)	+0.4	(+0.2)	+1.5	+1.2	+0.6	+1.5	+0.4	+0.3					
	4-6	+0.6	▲0.2	(▲0.4)	▲0.3	▲1.2	(▲0.1)	+0.9	(+0.1)	▲0.2	▲0.6	+0.8	▲0.5	▲0.3	▲0.6					
	7-9	+0.2	▲0.2	(+0.4)	+0.1	▲0.7	(+0.4)	+0.6	(▲0.7)	▲0.3	+1.2	+0.5	▲0.5	+0.1	▲0.7					
	10-12	▲1.1	▲1.6	(▲0.6)	▲0.3	▲4.0	(+0.4)	+0.4	(▲1.0)	▲6.7	▲4.7	+0.5	▲2.1	▲1.2	▲1.9					
02		+3.5	+0.9	(+0.5)	+1.0	▲1.4	(▲0.2)	+2.4	(+0.5)	+1.8	+0.4	+2.6	+0.0	+1.7	+0.5					
	03	+3.0	+0.8	(+1.5)	+1.2	+1.3	(+0.2)	+1.7	(▲0.6)	+1.6	+3.2	+2.2	▲0.2	+2.1	+0.1					
	04	+3.9	+1.9	(+1.8)	+1.5	+1.8	(+0.2)	+1.6	(+0.1)	+6.7	+6.5	+1.9	+0.7	+2.2	+1.4					
	05	+3.9	+1.8	(+2.3)	+1.8	+3.5	(+0.1)	+1.6	(▲0.2)	+5.2	+5.9	+2.0	+0.9	+2.1	+0.8					
	06	+5.1	+3.0	(+2.7)	+2.1	+5.9	(▲0.1)	+1.9	(+0.2)	+8.6	+8.4	+2.0	+3.2	+1.9	+2.1					
	07	+5.1	+2.7	(+2.4)	+1.6	+4.4	(+0.1)	+2.2	(+0.3)	+5.9	+5.3	+2.4	+2.6	▲0.3	+1.5					
	08	+3.0	+0.7	(+0.0)	+0.4	+0.0	(+0.0)	+0.0	(+0.0)	+0.0	+0.0	+0.0	+1.0	+0.2	▲1.0					

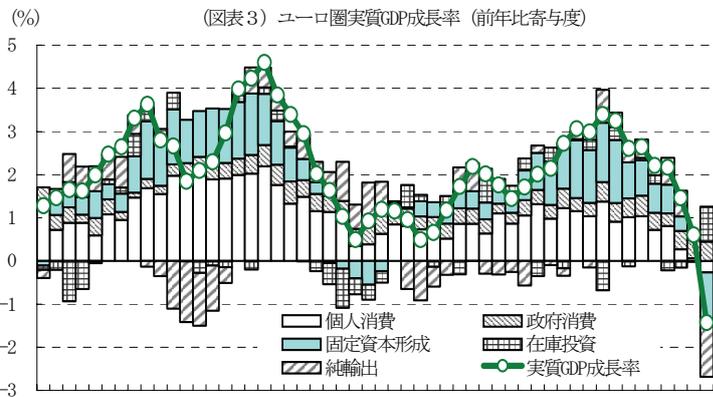
(出所) Eurostat

ドイツ・フランス・イタリアのGDPは各国統計局発表数値

(注) 在庫、純輸出は前期比寄与度



(出所) Eurostat



(出所) Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(米) 4月消費者物価、消費者物価コア(食品&エネルギーを除く消費者物価)

4月の消費者物価はエネルギー価格の上昇ペース加速により前月比+0.1%と上昇に転じると見込まれる。一方、コア物価は、タバコ税引き上げの影響が剥落するものの、帰属家賃の上昇などにより同+0.1%と緩やかな上昇となり、ディスインフレの状態が持続していることが確認されよう。

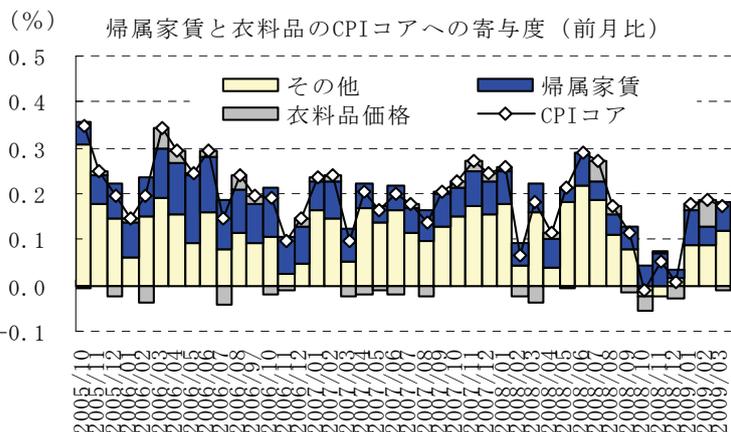
財・サービス別では、サービス(コア)の上昇ペースが医療サービスの上昇により小幅加速する一方、財価格(商品コア)は、一時的な要因で前月高い伸びとなったタバコが下落するとみられ、鈍化が予想される。この結果、前年比では財価格の下落とサービス価格の鈍化が示されよう。

消費者物価 (Consumer Price Index)

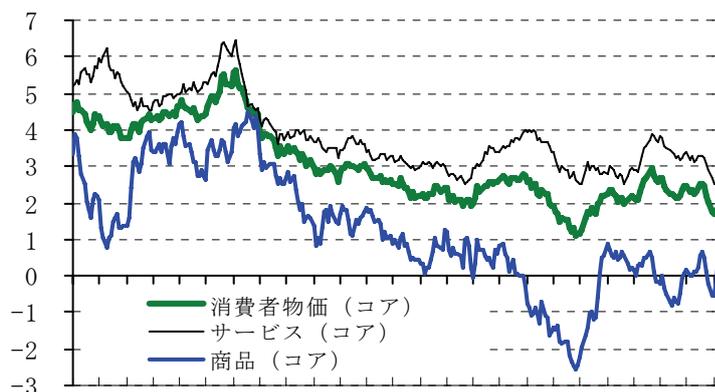
	消費者物価					食品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア
	総合		コア		エネルギー							
08/07	+0.7	(+5.6)	+0.272	(+2.51)	+3.5	+0.9	+0.6	+1.0	+1.4	+0.1	+0.3	+0.3
08/08	▲0.0	(+5.4)	+0.172	(+2.54)	▲2.0	+0.6	▲0.0	+0.4	▲0.9	+0.2	▲0.0	+0.2
08/09	+0.0	(+4.9)	+0.115	(+2.47)	▲1.0	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.1	+0.3	▲0.2	+0.2
08/10	▲0.8	(+3.7)	▲0.012	(+2.22)	▲7.8	+0.4	▲0.0	▲0.7	▲4.8	+0.2	▲0.3	+0.1
08/11	▲1.7	(+1.1)	+0.051	(+2.00)	▲16.9	+0.2	▲0.1	+0.1	▲9.7	+0.2	▲0.1	+0.1
08/12	▲0.8	(+0.1)	+0.006	(+1.76)	▲9.3	+0.1	▲0.0	▲0.6	▲5.0	+0.3	▲0.2	+0.1
09/01	+0.3	(+0.0)	+0.177	(+1.68)	+1.7	+0.1	+0.0	+0.3	+1.3	+0.4	+0.1	+0.2
09/02	+0.4	(+0.2)	+0.186	(+1.79)	+3.3	▲0.1	▲0.0	+1.3	+1.9	+0.3	+0.4	+0.1
09/03	▲0.1	(▲0.4)	+0.171	(+1.76)	▲3.0	▲0.1	▲0.1	▲0.2	▲1.1	+0.2	+0.4	+0.1

(出所) 労働省

(注) 数字は季調済前月比。但し、()内は前年同月比(未季調)。



(%) 商品・サービス価格の推移(コア、前年比)



85868788899091929394959697989900010203040506070809

(出所) 米労働省

(米) 4月鉱工業生産、設備稼働率

鉱工業生産は、製造業、鉱業のマイナス幅縮小により前月比▲0.7%と縮小ペースが鈍化するものの、6ヵ月連続の減少となる見込み。自動車の生産が足元での販売の落ち込み、過剰な在庫を背景に再び減少すると見込まれる一方、ハイテク生産は需要の拡大、在庫調整の進展によって拡大するとみられ、製造業生産全体ではマイナス幅を縮小しよう。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率の製造業生産に1~3ヶ月程度先行するISM生産DIが4ヵ月連続で改善していることから、同ペースでの製造業生産はマイナス幅を縮小し、悪化ペースの小幅鈍化が見込まれる。

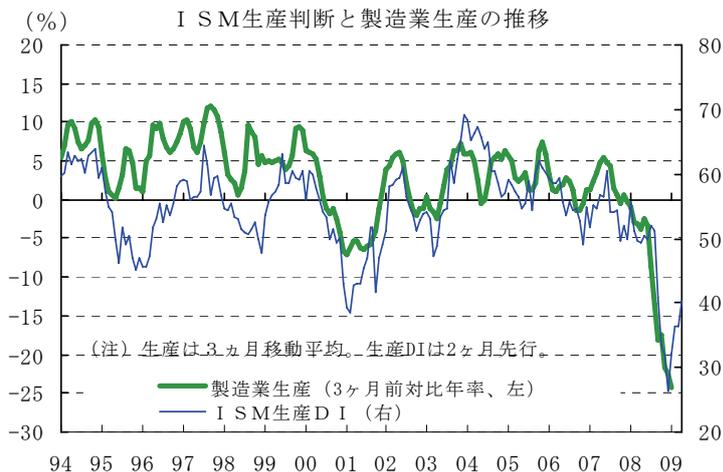
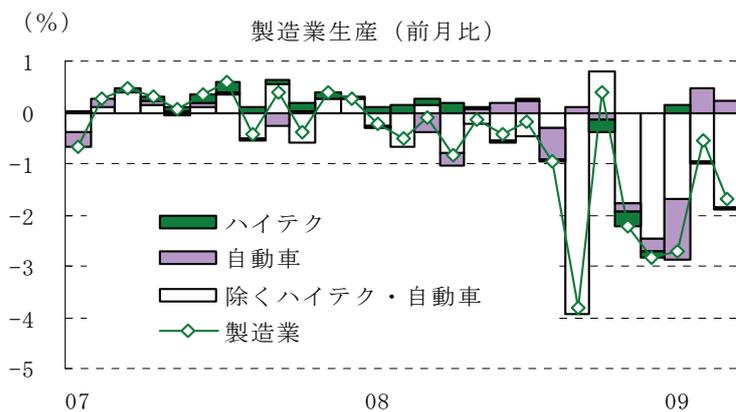
鉱工業生産 (Industrial Production and Capacity Utilization)

	鉱工業生産									設備稼働率		生産能力
	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	製造業 (NAICS)	生産能力				
08/06	▲0.2	(▲0.7)	▲0.4	▲0.0	+1.1	▲0.8	▲0.2	+3.0	+78.7	+76.3	+0.1	
08/07	▲0.1	(▲1.0)	▲0.2	+1.9	▲1.4	▲0.7	▲0.3	+2.6	+78.6	+76.1	+0.1	
08/08	▲1.1	(▲2.2)	▲1.0	▲0.5	▲3.3	▲1.2	▲0.9	▲10.7	+77.6	+75.3	+0.1	
08/09	▲4.0	(▲6.4)	▲3.8	▲9.3	+1.4	▲1.5	▲3.4	+0.9	+74.5	+72.4	+0.1	
08/10	+1.3	(▲4.7)	+0.4	+7.3	+1.3	▲4.8	▲0.2	▲3.7	+75.4	+72.7	+0.0	
08/11	▲1.2	(▲6.4)	▲2.2	+1.8	+1.8	▲6.0	▲1.9	▲3.2	+74.5	+71.1	+0.0	
08/12	▲2.2	(▲8.8)	▲2.8	▲2.3	+2.0	▲4.3	▲3.1	▲6.4	+72.8	+69.1	+0.0	
09/01	▲2.1	(▲10.7)	▲2.7	▲1.3	+1.2	▲0.5	▲2.9	▲25.0	+71.3	+67.2	▲0.0	
09/02	▲1.5	(▲11.8)	▲0.5	▲1.0	▲7.7	▲3.1	▲0.6	+9.4	+70.3	+66.9	▲0.0	
09/03	▲1.5	(▲12.8)	▲1.7	▲3.2	+1.8	▲3.1	▲1.7	+1.5	+69.3	+65.8	▲0.1	

(出所) FRB

(注) 数字は前月比、但しカッコ内は前年同月比。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(米) 5月ミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)

5月の消費者マインドは、09年1Qの金融機関の業績が黒字化したことや当局の「現時点で資本不足の大手銀行（大手19行）はない」と発言したことなどを受けた悲観的な見方の緩和、株価の安定、景気の悪化ペース緩和を示す経済指標の発表、などにより上昇すると見込まれる。実際、ABC消費者信頼感指数は5月第1週に上昇するなど、消費者マインドに改善の動きが出始めている。

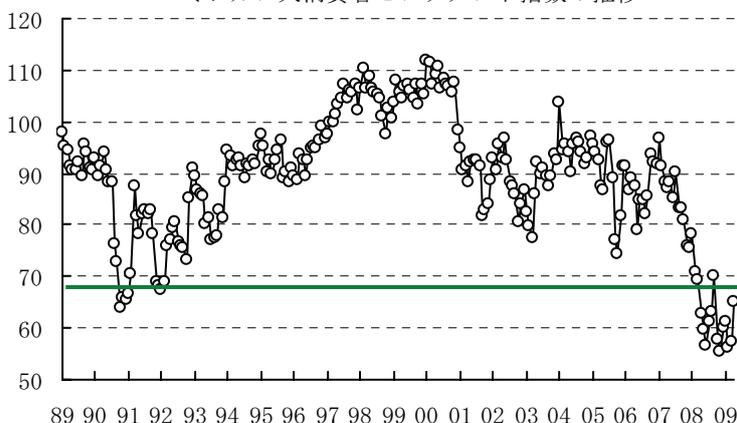
消費者信頼感 (Consumer Confidence)

	消費者信頼感指数			雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		ミシガン大学消費マインド		
	期待指数	現状指数	充分	困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅	期待	現状		
08/08	58.5	54.1	65.0	13.5	31.7	12.0	25.2	5.2	3.4	63.0	57.9	71.0
08/09	61.4	61.5	61.1	12.6	32.2	13.4	21.0	4.9	2.3	70.3	67.2	75.0
08/10	38.8	35.7	43.5	9.0	36.6	9.6	36.5	4.5	2.6	57.6	57.0	58.4
08/11	44.7	46.2	42.3	8.7	37.1	11.5	28.3	3.8	2.1	55.3	53.9	57.5
08/12	38.6	44.2	30.2	6.5	41.5	13.4	32.9	4.8	2.6	60.1	54.0	69.5
09/01	37.4	42.5	29.7	7.1	41.1	12.8	31.1	5.3	2.5	61.2	57.8	66.5
09/02	25.3	27.3	22.3	4.6	46.9	8.5	40.7	4.7	2.3	56.3	50.5	65.5
09/03	26.9	30.2	21.9	4.7	48.8	9.6	37.8	4.0	2.4	57.3	53.5	63.3
09/04	39.2	49.5	23.7	4.5	47.9	15.6	25.3	4.8	2.5	65.1	63.1	68.3

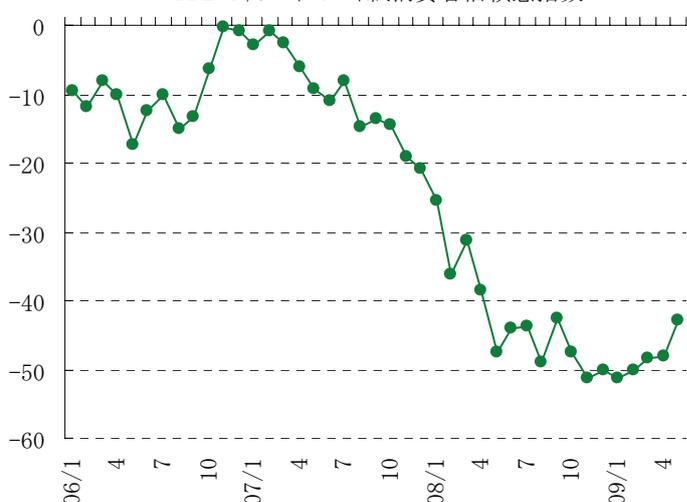
(出所) The Conference Board, University of Michigan

(注) 「雇用判断」、「半年後の景況感」、「購入計画」の単位は%で、全体に占める割合を指す。

ミシガン大消費者センチメント指数の推移



ABC/ワットソフ紙消費者信頼感指数



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

○講演予定

(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(13日まで、米ジョージア州ジキルアイランド)

(米)バーナンキFRB議長が基調講演

(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(13日まで)

(米)ロックハート・アトランタ連銀総裁が開会あいさつ

(米)ローゼングレン・ポストン連銀総裁がパネルディスカッションに参加

(米)アトランタ地区連銀の会合「金融市場-金融イノベーションと危機」(最終日)

(米)デュークFRB理事がパネルディスカッションに参加

(米)ロックハート・アトランタ連銀総裁が閉会あいさつ

＜世界経済＞月間スケジュール (09年5月～7月)

5月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4/27 ※(独)4月消費者物価(速)	28 3月商業販売統計(8:50) (米)CB消費者信頼感指数 (独)4月消費者物価(速)	29 (米)1-3月期GDP(速) (米)FOMC (マレーシア)金融政策委員会	30 3月鉱工業指数(8:50) 3月住宅着工統計(14:00) 4月日銀展望レポート(15:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) 金融政策決定会合 (米)3月個人所得・消費 (米)4月シカゴPMI (欧)4月消費者物価(速) (ニュージーランド)金融政策委員会 会 (フランス)金融政策委員会 (南ア)金融政策委員会	5/1 3月消費者物価・全(8:30) 4月消費者物価・都(8:30) 3月労働力調査(8:30) 3月一般職業紹介状況(8:30) 3月家計調査(8:30) 3月毎月勤労統計(10:30) 4月自動車販売(14:00) 4月軽自動車販売(14:00) (米)4月シカゴ大消費者セン (確) (米)4月ISM製造業指数 (米)4月自動車販売
4 (米)3月中古住宅販売保留 (米)3月建設支出 (米)4月ネット求人広告指数 (欧)4月製造業PMI(確)	5 (米)4月ISM非製造業指数 (欧)3月生産者物価 (インドネシア)金融政策委員会	6 (欧)4月サービス業PMI(確) (欧)3月小売売上高	7 4月マネタリーベース(8:50) (米)3月消費者信用残高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (独)3月製造業受注	8 金融政策決定会合議事要旨(4月6,7日分)(8:50) 3月家計消費状況調査(14:00) (米)4月雇用統計 (米)3月卸売在庫 (独)3月鉱工業生産
11 (仏)3月鉱工業生産	12 3月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (米)3月貿易収支 (米)4月財政収支 (独)4月消費者物価(確) (韓)金融政策委員会	13 3月国際収支(8:50) 4月マネーストック(8:50) 4月貸出・資金吸収(8:50) 4月景気ウォッチャー調査 (14:00) 白川日銀総裁講演 (米)4月輸入物価 (米)4月小売売上高 (米)3月企業在庫 (欧)3月鉱工業生産 (仏)4月消費者物価	14 40年利付国債 (米)4月生産者物価	15 3月機械受注統計(8:50) 3月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月企業物価(8:50) (米)4月消費者物価 (米)5月NY連銀指数 (米)3月対米証券投資 (米)4月鉱工業生産 (米)5月シカゴ大消費者セン (速) (欧)4月消費者物価 (独)1-3月期GDP(改) (仏)1-3月期GDP(改) (伊)1-3月期GDP(改) (香港)1-3月期実質GDP (インドネシア)1-3月期実質GDP
18 5月ロイター短観(8:30) 3月毎月勤労統計・確(10:30) 3月商業販売統計・確(13:30) 3月建設総合統計(14:00) 4月消費動向調査(14:00) ※4月全国百貨店売上高 (14:30) (米)5月NAHB住宅市場指数 (欧)3月貿易収支	19 4月投入・産出物価指数(8:50) 3月鉱工業指数・確(13:30) ※5月月例経済報告 5年利付国債 (米)4月住宅着工件数 (米)4月建設許可件数	20 1-3月期GDP1次速報(8:50) ※09年3月末市街地価価格指数 (10:00) 4月コンビニエンスストア統計(16:00) (タイ)金融政策委員会	21 3月第3次産業活動指数(8:50) ※4月チェーンストア販売統計 (14:00) 金融政策決定会合(～22日) (米)4月景気先行指数 (米)5月フィラ連銀指数 ※(欧)5月サービス業PMI(速) ※(欧)5月製造業PMI(速)	22 3月景気動向指数改訂(14:00) 日銀総裁定例記者会見 (15:30) (英)1-3月期GDP(確)
25 3月全産業活動指数(8:50) 5月金融経済月報(14:00) (タイ)1-3月期実質GDP (台湾)1-3月期実質GDP ※(シンガポール)1-3月期実質GDP	26 4月企業向けサービス価格指数 (8:50) 20年利付国債 (米)5月CB消費者信頼感指数 (欧)3月経常収支 (マレーシア)金融政策委員会	27 金融政策決定会合議事要旨(4月30日分)(8:50) ※4月貿易統計(8:50) (米)3月FHFA住宅価格指数 (米)4月中古住宅販売件数 (独)5月消費者物価(速)	28 4月商業販売統計(8:50) 2年利付国債 (米)4月耐久財受注 (米)4月新築住宅販売件数 (フィリピン)1-3月期実質GDP (フィリピン)金融政策委員会	29 4月消費者物価・全(8:30) 5月消費者物価・都(8:30) 4月労働力調査(8:30) 4月一般職業紹介状況(8:30) 4月家計調査(8:30) 4月鉱工業指数(8:50) 4月住宅着工統計(14:00) (米)1-3月期GDP(改) (米)5月シカゴPMI (米)5月シカゴ大消費者セン (確) (欧)5月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

6月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/1 4月毎月勤労統計(10:30) 5月自動車販売(14:00) 5月軽自動車販売(14:00) (米)4月個人所得・消費 (米)5月ISM製造業指数 (米)4月建設支出 (米)5月ネット求人広告指数 (欧)5月製造業PMI(確) (韓)1-3月期GDP	2 5月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月自動車販売 (豪)金融政策委員会	3 (米)5月ISM非製造業指数 (米)4月製造業受注 (欧)5月サービス業PMI (欧)4月生産者物価 (欧)1-3月期GDP(改) (豪)1-3月期GDP (尼)金融政策委員会	4 1-3月期法人企業統計(8:50) (欧)4月小売売上高 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合	5 4月家計消費状況調査(14:00) (米)5月雇用統計 (米)4月消費者信用残高
8 5月マネーストック(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 4月国際収支(8:50) 5月景気ウォッチャー調査 (独)4月製造業受注	9 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月景気動向指数(14:00) 30年利付国債 (米)4月卸売在庫 (独)4月鉱工業生産 (露)1-3月期GDP (伯)1-3月期GDP	10 5月企業物価(8:50) 4月機械受注統計(8:50) (米)4月貿易収支 (米)5月財政収支 (米)ペーजूブック (独)5月消費者物価(確) (仏)4月鉱工業生産 (伊)1-3月期GDP(確)	11 1-3月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債 (米)5月小売売上高 (米)4月企業在庫 (新)金融政策委員会 (韓)金融政策委員会 (伯)金融政策委員会	12 5月投入・産出物価指数(8:50) 4月鉱工業指数・確(13:30) 5月消費動向調査(14:00) (米)4月輸入物価 (米)6月ミシガン大消費者センテ (速) (欧)4月鉱工業生産 (仏)5月消費者物価
15 4月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(~16日) (米)6月NY連銀指数 (米)4月対米証券投資 (米)6月NAHB住宅市場指数	16 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)5月住宅着工件数 (米)5月住宅許可件数 (米)5月鉱工業生産 (欧)5月消費者物価	17 1-3月期資金循環(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 4月建設総合統計(14:00) 6月金融経済月報(14:00) 20年利付国債 (米)5月消費者物価 (欧)4月貿易収支 (土)金融政策委員会	18 6月ロイター短観(8:30) ※6月月例経済報告 (米)5月景気先行指数 (米)6月フィラ連銀指数	19 金融政策決定会合議事要旨(5月21,22日分)(8:50) (墨)金融政策委員会
22 4月第3次産業活動指数(8:50) 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) ※5月全国百貨店売上高(14:30) 5月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)6月サービス業PMI(速)	23 4月景気動向指数改訂(14:00) (米)5月FHFA住宅価格指数 (米)5月中古住宅販売件数	24 5月企業向けサービス価格指数(8:50) ※5月貿易統計(8:50) (米)5月耐久財受注 (米)5月新築住宅販売件数 (米)FOMC (欧)4月経常収支 ※(独)6月Ifo景況感指数	25 ※5月チェーンストア販売統計(14:00) 2年利付国債 (米)1-3月期GDP(確) (南ア)金融政策委員会	26 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) 4月全産業活動指数(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)6月ミシガン大消費者センテ (確) (独)6月消費者物価(速) (仏)1-3月期GDP(確) (越)4-6月期GDP (新)1-3月期GDP
29 5月商業販売統計(8:50) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月ネット求人広告指数	30 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (米)6月CB消費者信頼感指数 (欧)6月消費者物価(速) (英)1-3月期GDP(確) (土)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) ※平成21年路線価 (米)6月IMS製造業指数 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売 (欧)6月製造業PMI(確)	2 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月生産者物価 (欧)ECB理事会	3 5月家計消費状況調査(14:00) (欧)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/29 5月商業販売統計(8:50) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月ネット求人広告指数	30 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月家計調査(8:30) 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (米)6月CB消費者信頼感指数 (欧)6月消費者物価(速) (英)1-3月期GDP(確) (土)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月自動車販売(14:00) 6月軽自動車販売(14:00) ※平成21年路線価 (米)6月IMS製造業指数 (米)5月中古住宅販売保留 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売 (欧)6月製造業PMI(確)	2 6月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債 (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月生産者物価 (欧)ECB理事会	3 5月家計消費状況調査(14:00) (欧)6月サービス業PMI(確) (欧)5月小売売上高
6 5月景気動向指数(14:00) (米)6月ISM非製造業指数	7 40年利付国債 (英)5月鉱工業生産 (独)5月製造業受注	8 5月機械受注統計(8:50) 6月マネーストック(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) 5月国際収支(8:50) 6月景気ウォッチャー調査 (米)5月消費者信用残 (欧)1-3月期GDP(確) (独)5月鉱工業生産	9 7月卸売在庫 (英)BOE金融政策決定会合 (独)6月消費者物価(確)	10 6月企業物価(8:50) 5月特定サービス産業動態統計調査(13:30) (米)5月貿易収支 (米)6月輸入物価 (米)7月シカゴ大消費者センテ (速) (仏)5月鉱工業生産
13 5月鉱工業指数・確(13:30) 6月消費動向調査(14:00)	14 6月投入・産出物価指数(8:50) 5月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (米)6月生産者物価 (米)6月小売売上高 (米)5月企業在庫 (欧)5月鉱工業生産	15 日銀総裁定例記者会見 (15:30) (米)7月NY連銀指数 (米)6月鉱工業生産 (欧)6月消費者物価(確)	16 7月ライター短観(8:30) 5月第3次産業活動指数(8:50) 5月毎月勤労統計・確(10:30) 7月金融経済月報(14:00) 5年利付国債 (米)5月対米証券投資 (米)7月フィラ連銀指数 (米)7月NAHB住宅市場指数 (中国)4-6月期実質GDP	17 5月景気動向指数改訂(14:00) 5月建設総合統計(14:00) ※7月月例経済報告 (米)7月住宅着工件数 (米)7月建設許可件数 (欧)5月貿易収支
20 (米)6月景気先行指数	21 金融政策決定会合議事要旨(6 月15,16日分)(8:50) 6月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)7月製造業PMI(速) ※(欧)7月サービス業PMI(速)	22 ※7月主要銀行貸出アンケート 調査(8:50) ※6月チェーンストア販売統計 (14:00) ※6月全国百貨店売上高 (14:30) 20年利付国債 (米)5月FHFA住宅価格指数	23 ※6月貿易統計(8:50) (米)6月中古住宅販売件数 (欧)5月経常収支 (英)6月小売売上高	24 5月全産業活動指数(8:50) (米)7月シカゴ大消費者セン (確) (英)4-6月期GDP(速) ※(独)7月Ifo景況感指数
27 6月企業向けサービス価格指 数(8:50) (米)6月新築住宅販売件数	28 (米)7月CB消費者信頼感指数	29 6月商業販売統計(8:50) (米)ページブック (米)6月耐久財受注 (独)7月消費者物価(速)	30 6月鉱工業指数(8:50) 2年利付国債	31 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月住宅着工統計(14:00) (米)4-6月期GDP(速) (米)7月シカゴPMI (欧)7月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。